

### 一般質問・質疑

3月4日から6日の本会議では、まず、7人の議員が会派を代表して質問を行った後、12人の議員が一般質問に立ち、乳幼児任意予防接種の費用助成制度や後見支援センターの準備状況などについて市の見解を求めました。また、16日には、中学校給食導入事業にかかわる平成26年度補正予算議案について3人の議員から質疑がありました。なお、一般質問の発言者と質問項目の一覧は下段に、主な内容は4面から6面に掲載しています。(代表質問の発言者と質問項目、内容は2・3面に掲載)

### 発言者一覧

—発言順— ( ) は会派名

三好 宏(真誠会)

- ①シティセールスの推進 ②コミュニティビジネスの支援 ③プレミアム付商品券の発行 ④西明石活性化プロジェクト

木下 康子(次世代明石)

- ①(仮称)東部中学校給食センター ②第6期介護保険事業計画 ③斎場管理センター ④明石駅周辺のトイレ整備

尾仲 利治(民主連合)

- ①少子高齢化社会への取り組み ②子育てしやすいまちづくり ③子どもたちが生き生きと学ぶことができる教育環境づくり ④農業・漁業の振興 ⑤文化・芸術の振興
- ◎議案第51号 平成26年度明石市一般会計補正予算(第8号)(3月16日質疑)

辻本 達也(日本共産党)

- ①入札制度 ②中学校給食 ③選挙管理委員会
- ◎議案第51号 平成26年度明石市一般会計補正予算(第8号)(3月16日質疑)

千住 啓介(自由民主党明石)

- ①今後のアベノミクス地方創生への対応 ②学校教育

松井 久美子(公明党)

- ①議案第48号 平成26年度明石市一般会計補正予算(第7号) 地域住民生活等緊急支援のための交付金活用事業 ②高齢化や地域のニーズを踏まえた公共交通の方向性 ③小・中学校における空調設備の整備計画

永井 俊作(市民クラブ)

- ①原発事故対策と防災教育 ②非正規労働者の激増による格差と貧困の拡大 ③中学校給食の実施 ④学力向上と教育環境の改善
- ◎議案第51号 平成26年度明石市一般会計補正予算(第8号)(3月16日質疑)

寺井 吉広(真誠会)

- ①介護保険制度改正後の本市の対応 ②明石市に道の駅を ③動物愛護

新田 正彦(次世代明石)

- ①戦後70年平和首長会議加盟市の責務を果たそう ②介護保険制度施行15年の点検とこれからの道

北川 貴則(自由民主党明石)

- ①福祉の充実 ②樹林墓地 ③明石港の砂利揚げ場 ④泉市政の問題点 ⑤公務員の地位利用の防止対策

尾倉 あき子(公明党)

- ①国が取り組む地域の将来を担う若い世代の地方定着を促す奨学金返済の減免制度 ②自転車の交通安全対策の強化 ③高齢者の元気づくり支援 ④本町商店街への観光バス乗降場の設置

梅田 宏希(公明党)

- ①(仮称)明石市後見支援センターの運営 ②第6期介護保険事業計画 ③市制施行100周年事業 ④先天性難聴の早期発見 ⑤明石市選挙管理委員会

## 平成29年度に待機児童ゼロへ 保育所の受け入れ枠拡充 認定こども園も新設

**問** 本市では子育てしやすいまちを目指し、さまざまな取り組みを進めているが待機児童が解消されるのはいつか。また、認定こども園についても聞く。

**答** 待機児童解消は本市の最重要課題と認識しており、子ども・子育て支援事業計画では平成29年度には待機児童を解消するという目標を掲げている。その実現のため、保育所の新設などにより、27年4月に360人、



子育てするなら明石

**問** 28年4月に120人の受け入れ枠の拡充を図る予定だ。今後も保育の質や環境に配慮した整備を行い、早期の目標達成に向け努力していく。

**答** 認定こども園については、27年4月から大久保地区に民間の認定こども園が新設されるほか、28年度には二見幼稚園と二見保育所を一体化し、二見認定こども園へ移行する予定だ。現在、幼稚園教諭と保育士によるプロジェクトチームを設置し、

**問** 東部中学校給食センターを和坂の旧交通部跡地に建設するには敷地全体の産業廃棄物の撤去費が約11億円かかるほか、地域や保護者への説明や理解を得るための時間が必要と考える。他の場所での建設や自校方式、親子方式を併用して給食の早

**答** 中学校給食については基本計画に沿い、2カ所のセンター方式を進めたい。東部中学校給食センターの建設は環境分野の専門家の意見を聞き、土壌調査を行うなど、安全性や財政面、給食実施までに要する期間などを総合的に勘案した上で、全校実施の時期も含めた全体的な方向性をできる限り早期に示したい。なお、自校方式は、敷地利用上の制約があり、親子方式についても法的な課題や運営上の課題な

**問** 東部中学校給食センターを和坂の旧交通部跡地に建設するには敷地全体の産業廃棄物の撤去費が約11億円かかるほか、地域や保護者への説明や理解を得るための時間が必要と考える。他の場所での建設や自校方式、親子方式を併用して給食の早

**答** 中学校給食については基本計画に沿い、2カ所のセンター方式を進めたい。東部中学校給食センターの建設は環境分野の専門家の意見を聞き、土壌調査を行うなど、安全性や財政面、給食実施までに要する期間などを総合的に勘案した上で、全校実施の時期も含めた全体的な方向性をできる限り早期に示したい。なお、自校方式は、敷地利用上の制約があり、親子方式についても法的な課題や運営上の課題な

**問** 東部中学校給食センターを和坂の旧交通部跡地に建設するには敷地全体の産業廃棄物の撤去費が約11億円かかるほか、地域や保護者への説明や理解を得るための時間が必要と考える。他の場所での建設や自校方式、親子方式を併用して給食の早

**答** 中学校給食については基本計画に沿い、2カ所のセンター方式を進めたい。東部中学校給食センターの建設は環境分野の専門家の意見を聞き、土壌調査を行うなど、安全性や財政面、給食実施までに要する期間などを総合的に勘案した上で、全校実施の時期も含めた全体的な方向性をできる限り早期に示したい。なお、自校方式は、敷地利用上の制約があり、親子方式についても法的な課題や運営上の課題な

**問** 28年4月に120人の受け入れ枠の拡充を図る予定だ。今後も保育の質や環境に配慮した整備を行い、早期の目標達成に向け努力していく。

**答** 認定こども園については、27年4月から大久保地区に民間の認定こども園が新設されるほか、28年度には二見幼稚園と二見保育所を一体化し、二見認定こども園へ移行する予定だ。現在、幼稚園教諭と保育士によるプロジェクトチームを設置し、

**問** 東部中学校給食センターを和坂の旧交通部跡地に建設するには敷地全体の産業廃棄物の撤去費が約11億円かかるほか、地域や保護者への説明や理解を得るための時間が必要と考える。他の場所での建設や自校方式、親子方式を併用して給食の早

**問** 東部中学校給食センターを和坂の旧交通部跡地に建設するには敷地全体の産業廃棄物の撤去費が約11億円かかるほか、地域や保護者への説明や理解を得るための時間が必要と考える。他の場所での建設や自校方式、親子方式を併用して給食の早

**問** 東部中学校給食センターを和坂の旧交通部跡地に建設するには敷地全体の産業廃棄物の撤去費が約11億円かかるほか、地域や保護者への説明や理解を得るための時間が必要と考える。他の場所での建設や自校方式、親子方式を併用して給食の早

**問** 東部中学校給食センターを和坂の旧交通部跡地に建設するには敷地全体の産業廃棄物の撤去費が約11億円かかるほか、地域や保護者への説明や理解を得るための時間が必要と考える。他の場所での建設や自校方式、親子方式を併用して給食の早

**問** 東部中学校給食センターを和坂の旧交通部跡地に建設するには敷地全体の産業廃棄物の撤去費が約11億円かかるほか、地域や保護者への説明や理解を得るための時間が必要と考える。他の場所での建設や自校方式、親子方式を併用して給食の早

**問** 東部中学校給食センターを和坂の旧交通部跡地に建設するには敷地全体の産業廃棄物の撤去費が約11億円かかるほか、地域や保護者への説明や理解を得るための時間が必要と考える。他の場所での建設や自校方式、親子方式を併用して給食の早

**問** 東部中学校給食センターを和坂の旧交通部跡地に建設するには敷地全体の産業廃棄物の撤去費が約11億円かかるほか、地域や保護者への説明や理解を得るための時間が必要と考える。他の場所での建設や自校方式、親子方式を併用して給食の早

## 中学校給食 基本計画どおり 2カ所のセンター方式で



東部中学校給食センター建設予定地

## 後見支援センター開設 市民後見人の養成も計画

**問** 平成27年4月に貴崎にある総合福祉センター1内に開設予定の明石市後見支援センターの準備状況を聞く。

**答** 後見支援センターを含めた高齢者・障害者の総合相談窓口の開設に向けた施設の整備状況としては、現在、相

**問** 後見支援センターの設置や、新たに10台分の駐車場所を確保するために敷地内北側駐車場の改修を行っている。後見支援センターの運営体制については、社会福祉協議会へ委託し、社会福祉士などの後見支援に関する専門職2人を含む6人を配置して支援体制を整える予定としている。

**答** 後見支援センターは、後見制度利



総合福祉センター1階に開設

## 道徳教育 家庭でも 副読本の活用を

**問** 道徳教育は学校だけでなく家庭でも取り組むべきものと考えているが、家庭で活用する目的で配布されている道徳の副読本を学校から家庭に持ち帰っていない例がある。本市では、家庭での道徳教育をどのように推進しているのか。

**答** 学校での道徳教育は、道徳の時間を中心に、学校の教育活動全体を通じて行っており、県教育委員会作成の道徳教育副読本や文部科学省作成の道徳教育用冊子、その他の資料等を活用して指導している。副読本については、平成26年7月の校長会や10月の道徳教育担当者会で、副読本の活用状況調査による活用資料数や持ち帰り状況を

**問** 道徳教育は学校だけでなく家庭でも取り組むべきものと考えているが、家庭で活用する目的で配布されている道徳の副読本を学校から家庭に持ち帰っていない例がある。本市では、家庭での道徳教育をどのように推進しているのか。

**答** 学校での道徳教育は、道徳の時間を中心に、学校の教育活動全体を通じて行っており、県教育委員会作成の道徳教育副読本や文部科学省作成の道徳教育用冊子、その他の資料等を活用して指導している。副読本については、平成26年7月の校長会や10月の道徳教育担当者会で、副読本の活用状況調査による活用資料数や持ち帰り状況を